

1 展示会の概要

「触れて楽しむ！木のワンダーランド WOOD COLLECTION 2023「JAPAN ReWOOD」」は、国産木材の価値再発見と利用拡大を目的とする展示商談会です。主催は WOOD COLLECTION 実行委員会で、日本各地の自治体（青森県は農林水産部林政課が窓口）が参画し、川上である日本各地の事業者と川下である首都圏事業者とのマッチングの場が提供されています。

今年度は 26 都道府県が参画、約 100 の企業・団体が出展し、国産木材を使用した多彩な建築資材や家具、雑貨等が紹介されました。

2 共同研究企業； WOOD MAKER JAPAN 株式会社（代表：今井 公文 氏）

住宅関連資材販売業のほか、自社製品としてエコ新素材「e. wood+」の製造・販売を行っています。弘前工業研究所デザイン推進室では、令和元年から新製品開発に向けて同社との共同研究に取り組んでいます。

〒036-0115 青森県平川市新館藤山 16-1

電話：0172-88-6588 ホームページ：<http://woodmaker.jp/>

3 開発試作品について

軽量かつ強度のある「e. wood+」を活用した新たな商品を弘前工業研究所が試作し、提案。テーマはコロナ禍により急増している車中泊キャンパー向けのアイテムです。

(1) 軽ワンボックス 車中泊用ベッド

- ・軽ワンボックス自動車の後部スペースに設置します。
- ・ベッドを畳んだ状態では、後席が利用可能です。
- ・アウトドア用マットを敷いて使用します。
- ・1台で1人用、2台連結で2人用として使用できます。



(2) 車中泊用木製ミニキッチン

- ・車内泊用ベッド下に収納できます。
- ・ハッチバックドアの後部に設置したテーブルに、ミニキッチンを引き出します。
- ・ミニキッチンは上下に伸縮し、高さを調節して使用できます。



(3) キャンピングカー用ドア

- ・軽量で開閉時の音が静かです。
 - ・新配色の津軽塗タイルとの組み合わせにより高品位な車内空間を演出し、差別化を図ることができます。
 - ・建築内装材（ドア）としても使用できるデザインです。
- * 津軽塗は青森県を代表する伝統工芸品です。



(4) ランタン

- ・波型ボードタイプの「e. wood+」を使い、提灯状の曲面に加工したランプシェードです。
 - ・アウトドア向けランタンとして製作しました。
 - ・木目を透過した光が、同じものは2つと無い模様を映します。
- * 知財情報
特許出願済（特願 2021-143371）
意匠登録 第 1709212 号



4 e. wood+について

特許技術により波型成型した薄板を使用した新しい木質素材で、「木製段ボール」、「ハニカムボード」、「波型ボード」の3タイプがあります。青森県平川市にある株式会社今井産業が発明しました。弘前工業研究所では、軽量で強度がある「木製段ボール」の特性や「波型ボード」の表情を活かした製品や製造技術の開発に共同で取り組んでいます。

【問合せ先】

担 当： デザイン推進室 濱田、小松
電 話： 0172-55-6740 FAX：0172-55-6745
E-mail： kei_hamada@aomori-itc.or.jp